

安全報告書

平成20年度

岩手開発鉄道株式会社



1. 経営責任者からのメッセージ

弊社は、「安全第一」をモットーに、輸送の安全・安心を実現するため、毎年、安全方針・安全目標を掲げ活動しており、その中で「運輸安全マネジメントの推進」、「コンプライアンスの徹底」を図ると共に、安全・安心の先取活動として「リスク管理の推進」に努めております。さらに、万一事故が起こった場合の迅速な人員救出、二次災害防止、早期復旧を目的に「事故想定訓練」を実施する等、異常時の対応についてもスムーズに行えるよう日頃から取組みを実施しております。

また、平成20年10月には東北運輸局による「運輸安全マネジメント評価」及び「保安監査」を通じ、指導を頂き、一層進化した活動の推進を図ることが出来ました。

活動の結果として、平成20年度は「鉄道輸送における事故0」、その他「労働災害でも災害0」を達成することができました。今後とも、安全・安心を実現するための活動を徹底し、「事故0、災害0」を継続する所存です。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全管理体制の実態について自らが振り返り反省し、更なる推進を図ると共に、広く弊社関係機関及び地域住民をはじめとするあらゆる関係者にご理解を頂くために公表するものであります。

皆様からの声を、これからの輸送の安全・安心の活動に役立てたいと考えていきます。積極的なご意見を頂ければ幸いに存じます。

岩手開発鉄道株式会社
代表取締役社長 上野晋吾

2 . 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

鉄道事業法など関係法令並びに輸送の安全を確保するために社内で定めた安全管理規程及び基準を遵守し、輸送の安全の水準の維持及び向上を図ることとしております。

安全に係る行動規範は、安全綱領に定める次の通りとする。

安全の確保は、輸送の生命である。

規程の遵守は、安全の基礎である。

執務の厳正は、安全の要件である。

事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。

情報は漏れなく迅速に、正確に伝え、透明性を確保する。

常に安全意識を持ち、必要な変革に挑戦する。

3 . 安全方針と目標

平成20年度会社方針の第一番目に「安全・安心・健康の確保で安全マネジメントの定着と安全諸規定の遵守」と掲げている通り、安全と健康は企業経営基盤の根源であり、最優先されるものである。

明るい活気のある企業・顧客から信頼される企業は、安全から生み出される。

これを基に平成20年度の「安全方針」「安全目標」は次のとおり定めています。

[安全方針]

コンプライアンスの徹底及び安全諸規定の遵守

運輸安全マネジメントの定着とシステムの改善の推進

安全を先取し、労働災害の撲滅と交通事故防止を図る

[安全目標]

鉄道事故：ゼロ

労働災害：ゼロ

交通事故：ゼロ

4 . 輸送の実態

弊社は、昭和14年に産業振興と沿線地域の開発を目的に創立され、第二次世界大戦で工事の中断を経て昭和25年営業を開始しました。昭和36年からは石灰石輸送も開始となりました。平成4年には旅客数の減少に伴い旅客営業を廃止し、貨物輸送専用鉄道となり、セメント原料である石灰石輸送を担っております。平成5年には輸送量4,500千トンの実績を記録しましたが、以降年々減少が続き、平成20年度で1,880千トンの実績となっております。

「鉄道の使命」であります安全・安心輸送に関し、平成20年度は「安全マネジメントの定着」を方針に掲げ会社一丸となって取り組んでまいりました。また、各種運動へも積極的に参加し、鉄道事故防止、踏切事故防止などの啓蒙活動を展開しております。さらに、弊社本社が位置する盛（さかり）地区では、JR東日本、三陸鉄道南リアス線と3社が近接していることから、毎年3鉄祭を合同開催し地域住民へのサービス、安全のPR活動に努めています。

直近5カ年の石灰石輸送実績

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
上期計	980,910	1,076,040	962,010	987,390	917,280
下期計	1,198,890	1,073,520	1,108,170	959,490	964,530
年度計	2,179,800	2,149,560	2,070,180	1,946,880	1,881,810

(単位：トン)

5 . 設備等の整備

(1) 平成 2 0 年度に安全・安心輸送を確かなものにするために整備した主な項目は次のとおりです。

第三種踏切道への遮断機新設工事（格上げ）
陸橋塗装工事
よう壁補修工事
橋梁の保守工事
沿線の立木伐採
道床更換工事
P C マクラギ更換工事

(2) 今後予定している整備項目は次のとおりです。（年々計画に順次実施）

- ・ 道床更換工事
- ・ 通信柱更換工事
- ・ P C マクラギ更換工事
- ・ 落石防護フェンスの延長工事
- ・ 支障木伐採工事
- ・ 貨車側面鋼材修繕工事
- ・ 構造物関係精査

6 . 安全確保への取組

[安全重点実施事項]

安全方針にそって安全重点施策を掲げ、その安全重点施策を具体的項目に展開し各グループで取り組んでいます。この安全重点実施事項は、年度当初において安全方針を達成する為の方策として決定され、四半期毎に進捗状況をチェックし、見直しを図るなどして推進します。年度末においては、年間における進捗度及び達成度が報告され、実績が目標を下回る項目は原因などを究明し、次年度の活動に反映することになります。

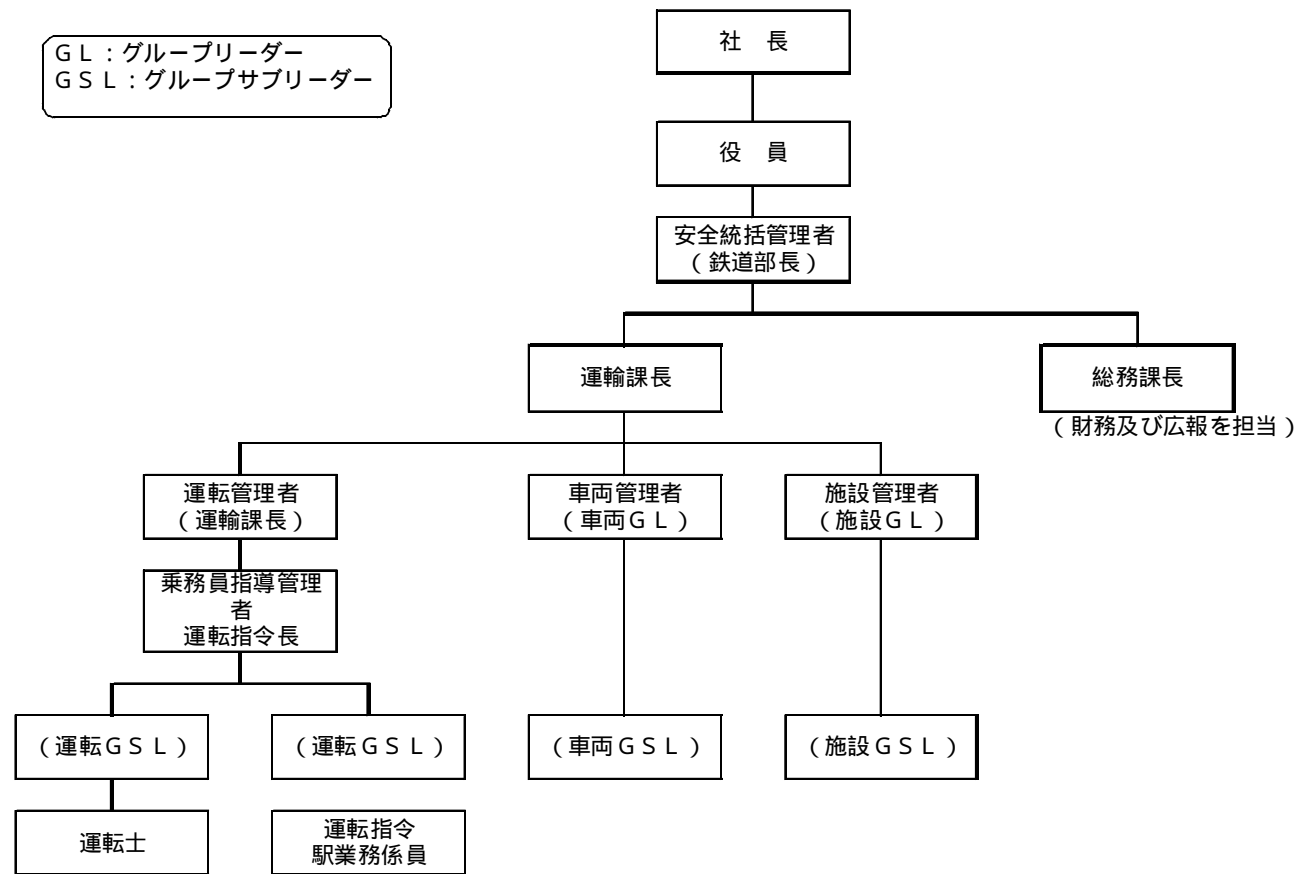
	重点施策	手段	担当	期限
	ベテラン社員から次世代社員・若手社員への関係法令・規程類教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・業務研究会での計画的勉強会の実施 ・教育担当リーダーの活用 	GL	09/03末
	運輸安全マネジメント体制の構築・運用開始・定着	<ul style="list-style-type: none"> ・既に作成されている安全管理規程等基準類で不足部分の補充を実施 ・内部監査を実施し、運用教育・システムの改善を実施 	安全統括管理者及びGL	臨時内部監査10月実施
	KY・ヒヤリハット活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・作業前KY～KYボードの活用 ・ヒヤリハット把握～1人1日1件の目標で月毎に各グループで結果報告する 	GL	09/03末
	作業計画事前打合せの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・点呼・引継ぎを活用してミーティングの充実を図る 	GL	09/03末
	交通安全運動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・社外安全運転運動への積極的参加 ・KYシートの活用等による交通安全意識向上 	各個人	09/03末

GL = グループリーダー

7. 安全管理体制

(1) 安全管理体制

当社の安全管理体制は下記のとおりです。この組織の中で示す各管理者の責務は安全管理規程で明確に定められており、それを実行することで安全輸送を確実なものとしています。



(2) 各管理者の責務

各管理者の輸送の安全に係る責務は次の通りです。

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
鉄道部長 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運輸課長 (運転管理者)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
総務課長	輸送の安全の確保に必要な財務に関する事項を統括する。
運転グループリーダー (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設グループリーダー (施設管理者)	安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する。
車両グループリーダー (車両管理者)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

(3) 安全管理の取組み

トップによるコミュニケーション

朝礼、あるいは現場での定例会議（業務研究会など）に参加する等、現場とのコミュニケーションに努めております。

安全衛生委員会

社長をトップに、安全統括管理者（鉄道部長）、課長、安全教育担当者、グループリーダー、組合執行委員がメンバーとなり毎月定例会議を開催し、ヒヤリハット、輸送障害、自然災害、車両故障、踏切障害、信号障害等の原因究明、緊急対策、恒久対策等を検討し、事故防止、再発防止に努めております。

異常時における連絡体制

鉄道運転事故及び自然災害などに備え、異常時の連絡体制を構築しています。また事故想定訓練を実施し異常時の対応について実践訓練を行っています。

パトロールの実施

年間指導計画書に基づき社長、安全統括管理者、課長、安全教育担当者、グループリーダー、組合執行委員により各施設、職場の巡視を行い安全の確保と衛生の改善に取り組んでおります。

職場における安全活動

各職場では、月例点検（設備の定期点検）、業務研究会を毎月開催し、日常の懸案事項についての討議や学習会を実施し、安全レベル向上を図っています。また運輸安全マネジメントの実践状況のチェック及びシステムの問題点についても討議し、改善を行っています。年に1度は内部監査を行い他部署の監査員による監査を行い実施状況をチェックし改善に結びつけています。

8 . 安全活動の具体的行動

安全活動の具体的な行動として、当社では事故想定訓練、QC活動、KY活動、リスクアセスメント、相互注意、ヒヤリハット、踏切啓蒙活動など実施しております。

ここでは事故想定訓練、踏切事故防止活動について報告します。

[事故想定訓練]

毎年実施されます事故想定訓練は、事故発生から関係箇所への連絡、負傷者の救護、復旧作業への迅速な対応の習熟を目的としており、当社としては最大規模の訓練となり全職員が参加します。

平成20年度に於いては、全社員で踏切事故想定訓練を実施しましたが、今年度の訓練では、各グループ毎にテーマを決め、実践しました。

- 運転グループ・・・指令業務と代用閉そく方式取扱いの理解 (信号故障の指導通信式対応)
- 車両グループ・・・指示系統と復旧手順の確認 (貨車脱線復旧訓練)
- 施設グループ・・・指示系統と復旧手順の確認 (落石警報装置作動時の処置)

[踏切事故防止啓蒙活動]

年間活動として、一般向けにチラシ配布の啓蒙活動、春季における新入生児童を対象に、沿線小学校にグッズ、チラシなどを配布、また「鉄道の日」には乗務員、駅業務係員が踏切設置附近の民家、住民を対象にチラシ配布をし、踏切事故防止の啓蒙活動を実施しています。



[施設グループ]落石警報装置作動時の処置



[施設グループ]落石警報装置作動時の処置



[車両グループ]貨車脱線復旧訓練



[車両グループ]貨車脱線復旧訓練

9 . 安全研究

平成20年は、「テロ防止」と題して警察署に講師をお願いし講演会を開催しました。今年度は安全・安心輸送の原点から、全国安全週間の行事として「メンタルヘルスケア」及び「熱中症予防対策」として予防から応急措置までのビデオ学習会を実施し、更なる安全への意識を高めました。



平成20年度



平成21年度

10 地域住民の皆様との連携

(1) 皆様からの声の重視

弊社は、セメントの原料である石灰石輸送を担っており、日々は13本ダイヤで運行されております。列車組成は牽引の内燃機関車と18両連結のホッパー車で組成されております。営業キロは11.5kmで、25%勾配が4割程あります。エンジン音、タイヤの回転音等に意を配り、沿線地域住民にご迷惑をお掛けしないよう営業しております。一方、営業キロから判断しますと踏切度数が高く、沿線沿いの皆様へはご迷惑をお掛けしている次第です。今後共、踏切事故防止には深いご理解とご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。お蔭様を持ちまして平成20年度、平成21年度とも無事故運転に推移しております。地域の皆様と共に生きる鉄道として重ねてお願い申し上げます。

(2) ご意見・ご要望をお待ちしております。

弊社では、地域の皆様から愛される鉄道として「安全マネジメント」を柱に、日々努力を重ねている次第です。お蔭様を持ちまして無事故・無災害で輸送に専念できておりますが、何時どのようなトラブル等に直面するか分かりませんし、地域住民の皆様にはどのような迷惑をお掛けするか分かりません。そのような場合には、下記の窓口までご意見、ご要望をお寄せ下されば幸いに存じます。お待ちしております。

お客様ご案内窓口

岩手開発鉄道株式会社 地域住民ご案内窓口

TEL 0192-26-3127 FAX 0192-25-0666

E-Mail info@kaihatsu-railway.co.jp

月曜日～金曜日 8:00～17:00（お盆・年末年始を除く）